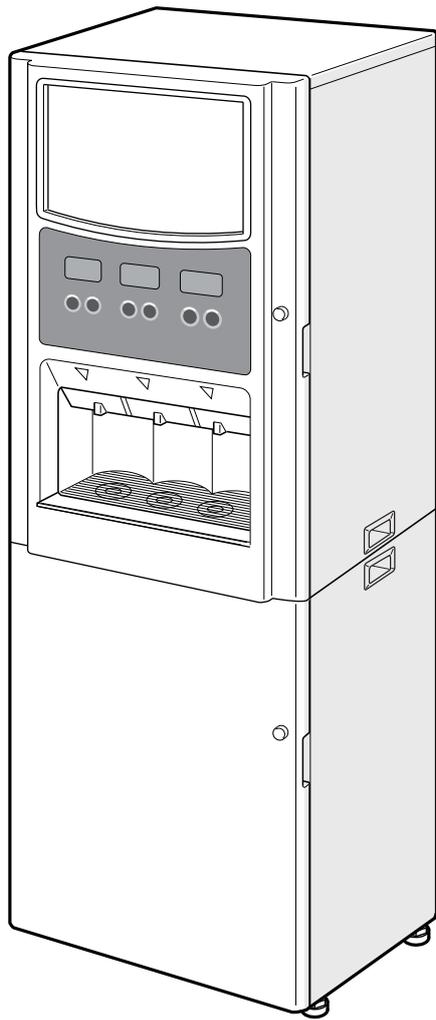


# 自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

## HPT-369LNF



## もくじ

安全上のご注意	1～4
各部のなまえとはたらき	5～7
据付工事	8～13
はじめてご使用になる前に	14
冷却用タンクに給水する	14
製品に給水する	14
排水する	14
お願い	15
茶の葉の入れかたと交換条件	16
コントローラーの使いかた	17～37
コントローラーで設定できる機能	17～19
数値設定する機能の設定可能値	20
初期設定・通常設定の選択	21
初期設定を完了する	21
給水方式を設定する	22
動作音を設定する	22
基準値を設定する	23
週間予約を設定する	24
休日予約を設定する	25
リンスする	25～26
湯温を設定する	27
沸騰させる	28
浄水器の交換時期を設定する	29
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	30
現在時刻を合わせる	31
休止・故障履歴を見る(通常設定のみ)	32
原料の量を設定する	33
飲料の量を設定する	33
茶の葉を交換する	34
茶の葉の交換条件を設定する	34
長時間放置後の抽出量の追加を設定する	35
冷水機の運転・停止	35
適温になっていないが抽出する	36
累計の抽出回数を見る	36
運転モードを切り替える	37
お手入れ	38～41
別売部品	41
修理サービスを依頼する前に	42
仕様	43
保証とアフターサービス	43
長期使用製品の安全に関するお願い	44

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、いつも手元においてご使用ください。

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転をおこない異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 【表示の説明】

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	” 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること” を示します。
 <b>注意</b>	” 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、物的損害（*3）の発生が想定されること” を示します。

\*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますのでご確認ください。

もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 【免責事項】

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 警告

**据付・配管・電気工事は関連する法規や地方条例と、この取扱説明書に従う**  
工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



指示

**電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する**  
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用

### アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

**本体の近くの操作のしやすいところに、専用止水栓を設ける**  
水漏れのと、専用止水栓がないと拡大被害の原因となります。



専用止水栓を設ける

**給水配管はステンレス管や合成樹脂内面処理管など、法規や地方条例に適合した材質を使用する**  
ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し水漏れの原因になります。



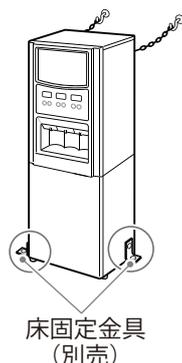
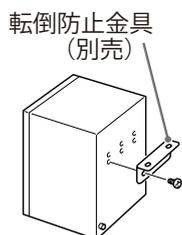
指示

### 地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。

#### 転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。部品はお買い上げの販売店にご相談ください。



#### 本体と置台の連結

置台に付属の取付金具（3枚）で本体と置台を連結してください。

#### 置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調節脚で高さを調整し、別売の床固定金具を使用して、床に固定してください。部品はお買い上げの販売店にご相談ください。



転倒防止

**湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない**  
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

### 分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

### 漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

**異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

# 安全上のご注意 (つづき)

## 警告

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、  
電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は、飲料抽出口に手を入れたり、機構部に手を触れない

やけどやけがをする原因になります。



接触禁止

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼し、  
必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

この製品には可燃性冷媒が使われています。

修理および廃棄時には、火気を使用しないでください。

この製品を廃棄する場合には、換気装置などのある風通しの良い場所で冷媒を放出してください。



火気の禁止

## ⚠ 注意

**ガス類や引火物の近くに設置しない(本体の近くにガス類や引火物を置かない)**  
発火の原因になります。



引火物禁止

**配管水路にストレーナーを設ける**  
本体に異物が侵入し、水漏れや故障の原因になります。



ストレーナーの設置

**給水水圧は0.1～0.75MPaの間で使用する**  
水圧が高いとき、減圧弁を使用しないと、水漏れや故障の原因になります。



減圧弁を使用

**配管接続部は確実に接続する**  
確実に接続しないと、水漏れの原因になります。



接続確認

**排水ホースは直接排水口に導く(直接排水式の場合)**  
水漏れのととき拡大被害の原因になります。



直接排水

**工事作業中は手袋を着用する**  
金属端面などによるけがを防ぎます。



手袋を着用

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く**  
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

**月に一度は電源プラグ部分を点検する**  
電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

**本体上に重量物を置かない**  
扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

**本体上に水を入れた容器を置かない**  
水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



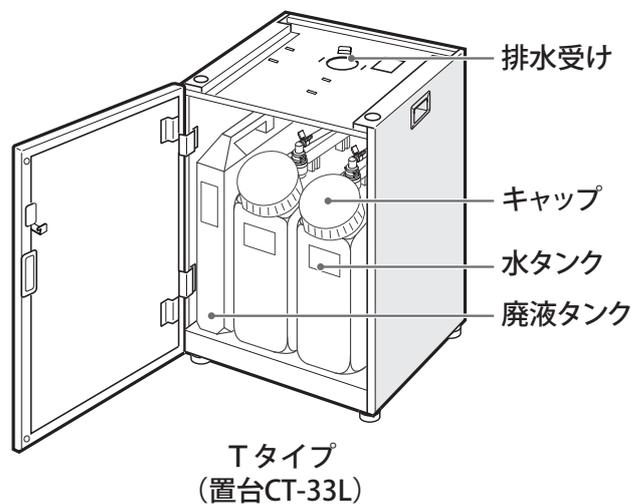
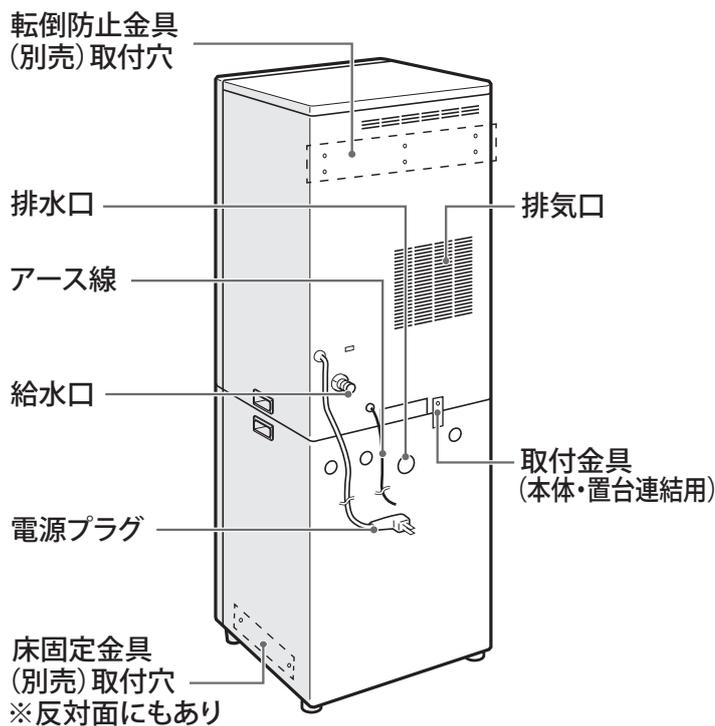
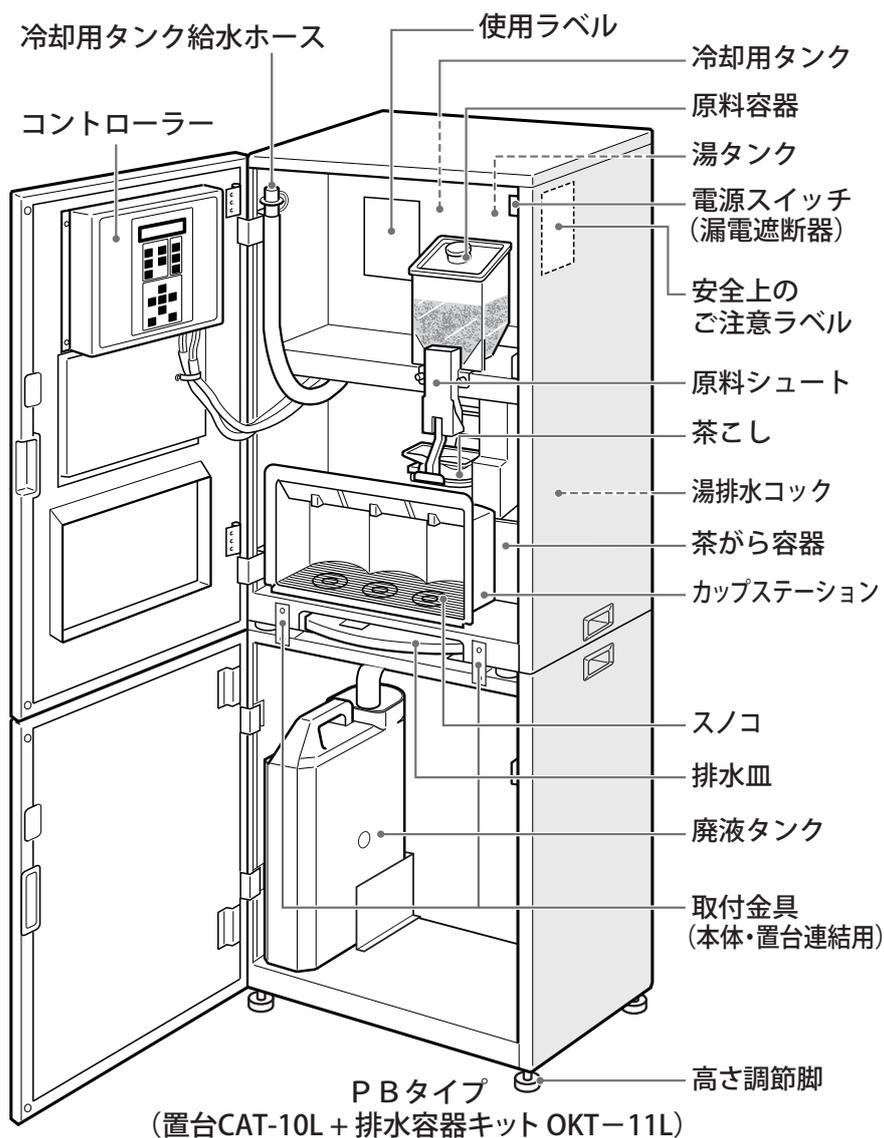
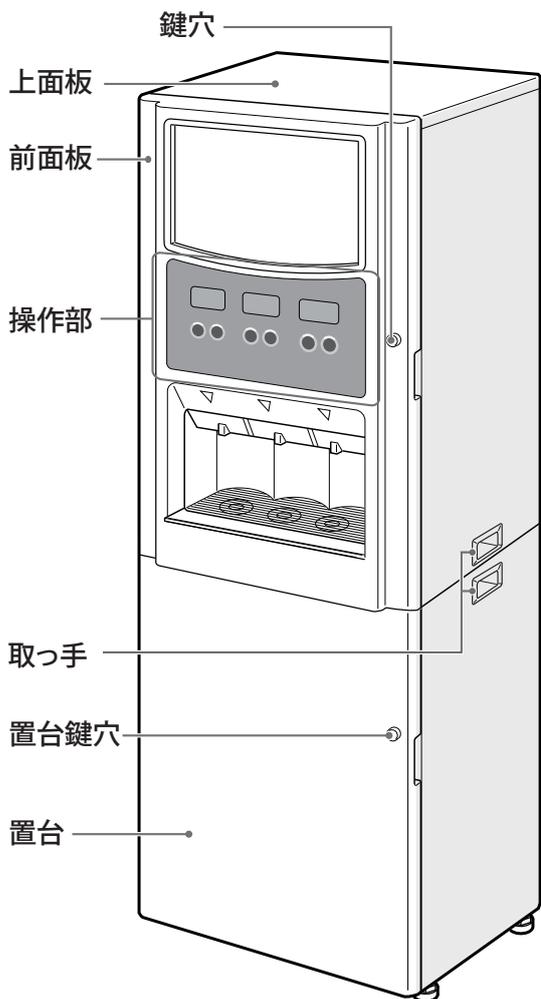
上乗せ禁止

**水道法の水質基準に適合する水を使用する**  
お湯(30℃以上)や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

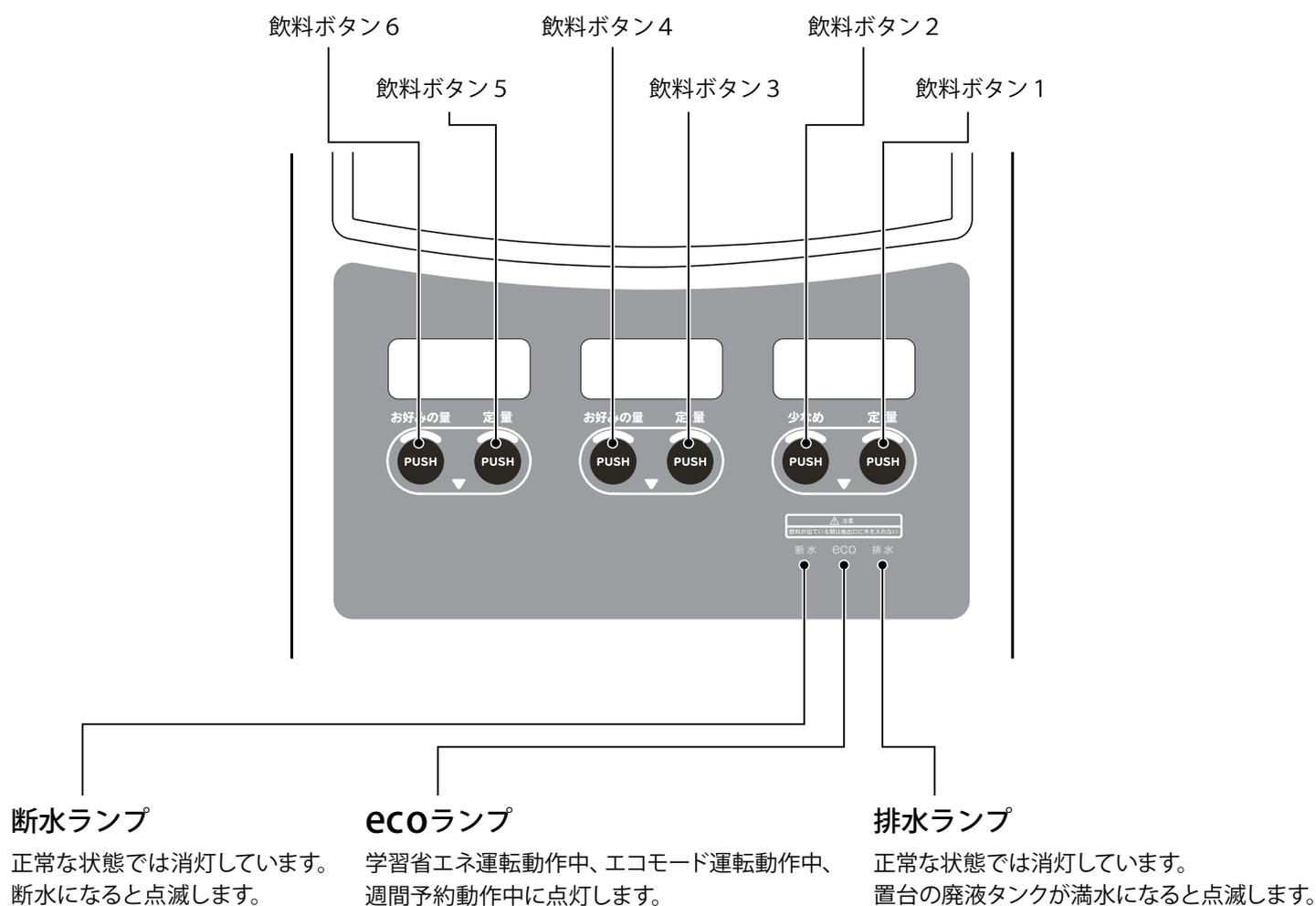
# 各部のなまえとはたらき



# 操作部

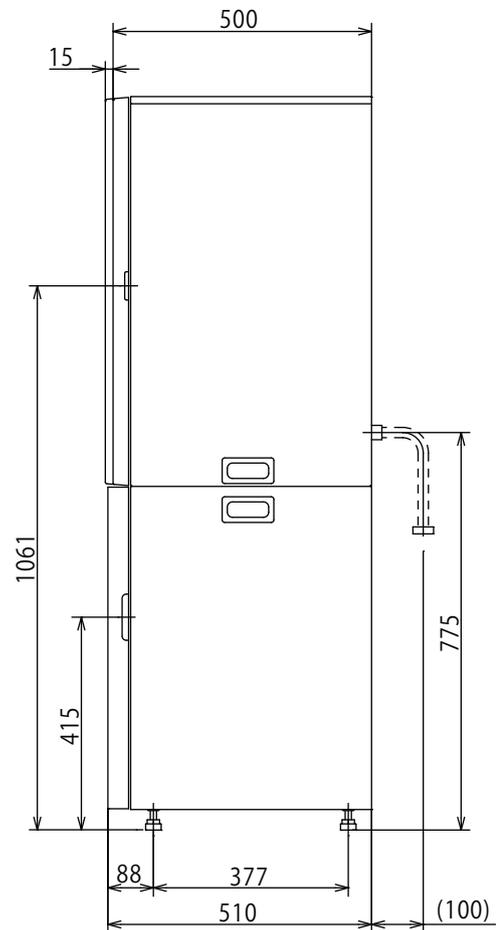
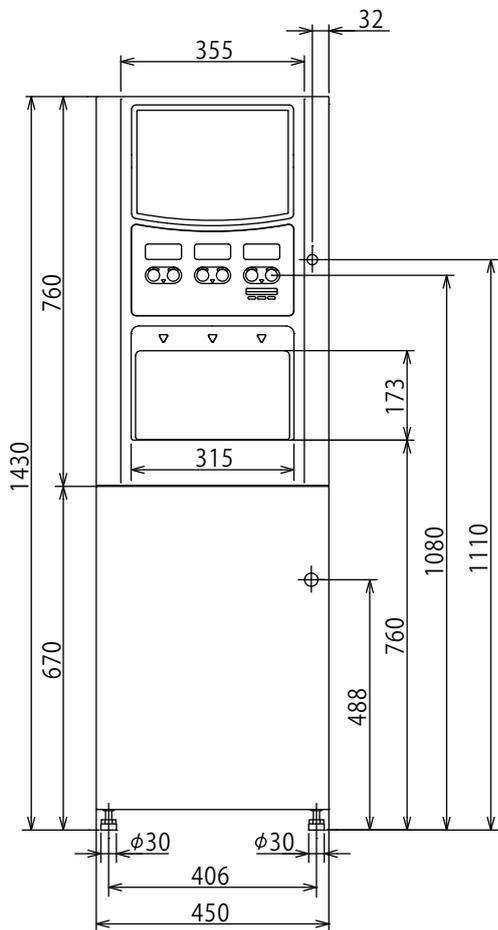
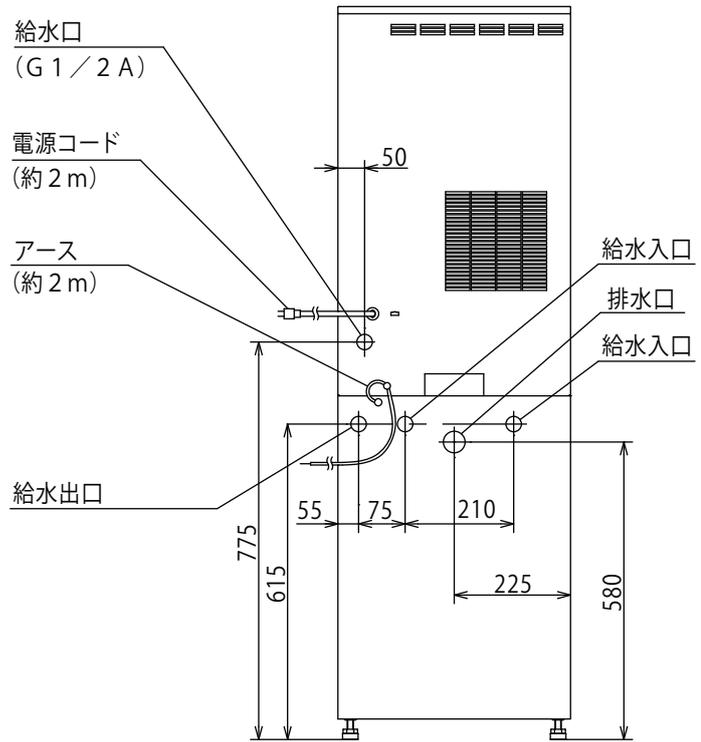
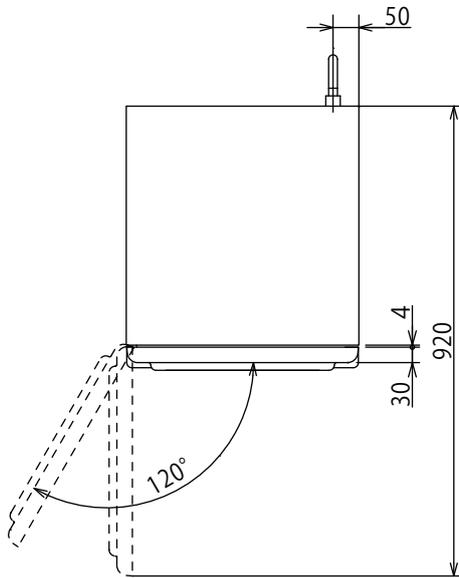
## 飲料ボタンとボタンランプ

- ・ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。  
抽出中はボタンランプが点滅します。
- ・ボタンランプが消灯しているときは、その理由がコントローラーの表示部に表示されます。
- ・ボタンランプがすべて点滅しているときは、リンスです。



# 各部のなまえとはたらき (つづき)

## 外形寸法



# 据付工事

## 輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

### ⚠ 注意

#### 解梱後、運搬するときは商品側面の取っ手部を持つ

前面板はプラスチック製です。前面板を持つと変形や割れる原因になります。

#### 商品の上に乗らない

商品が変形する原因になります。

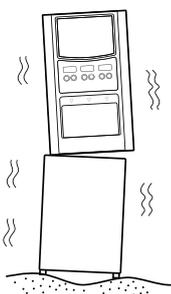


指示

## 設置環境と据付工事

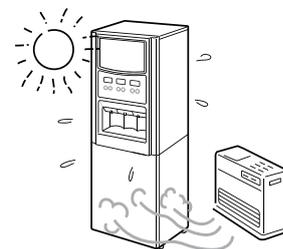
### 床は丈夫で平坦な場所に据えつける

床が傾いていたり不安定な場所では、転倒したり振動や騒音の原因になります。



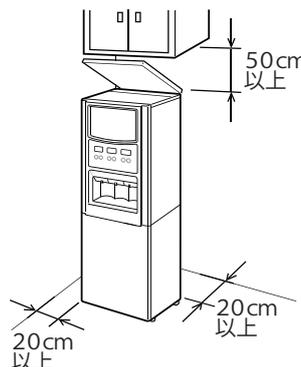
### 直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据え付けない

冷水機の冷却効果が低下したり、過熱し故障の原因になります。



### 風通しがよく保守や修理サービスの容易なところに据え付ける

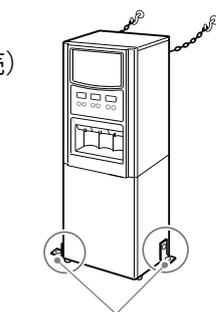
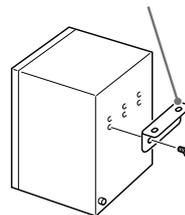
必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉をあけたとき物に当たったりします。また、上側は修理サービスのときに、上面板が開けられるように50cm以上空間を開けてください。



### 本体と置台の連結と転倒防止処理をする

置台に付属の取付金具（3枚）で本体と置台を連結してください。事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具、床固定金具を使用し、壁や柱および床に固定してください。部品はお買い上げの販売店に、ご相談ください。

転倒防止金具（別売）



床固定金具（別売）

### ⚠ 警告

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない  
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

地震などによる転倒防止の処置をする  
振動により転倒し、けがの原因になります。



転倒防止

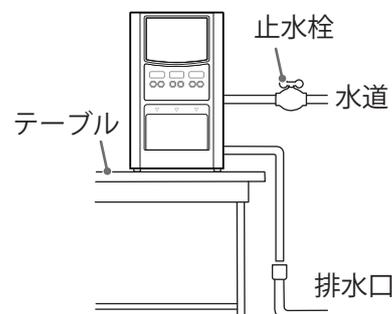
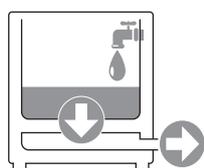
# 据付工事 (つづき)

## 給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により4つのタイプがあります。

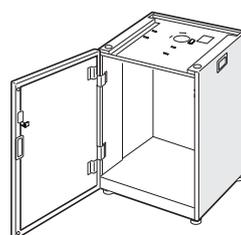
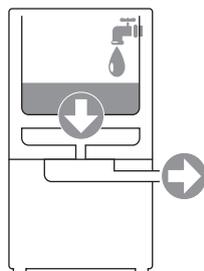
### Dタイプ (水道直結・直接排水・卓上式)

既存のテーブルやカウンターの上にセットして、給水は水道に直結、排水は排水口に直接排水して使用します。

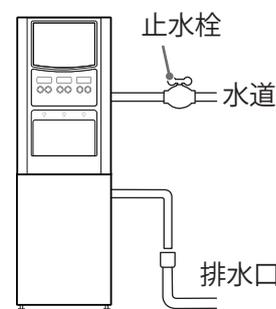


### PAタイプ (水道直結・直接排水式)

置台CAT-10Lと連結して、給水は水道に直結、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に浄水器 (水フィルター) が組み込まれているタイプと組み込まれていないタイプがあります。

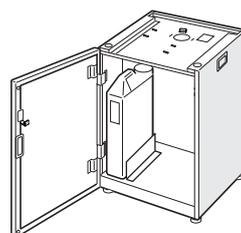
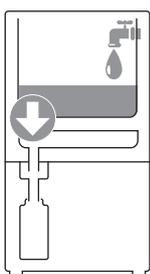


置台CAT-10L

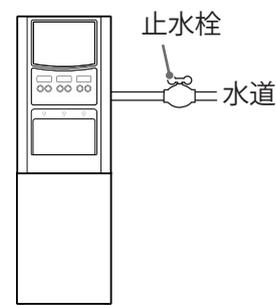


### PBタイプ (水道直結・排水容器付)

置台CAT-10Lに排水容器キットOKT-11Lを取り付けて使用します。給水は水道に直結し、排水は排水タンク (10L) に排水して使用します。

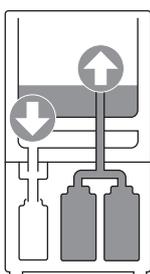


置台CAT-10L  
+排水容器キットOKT-11L

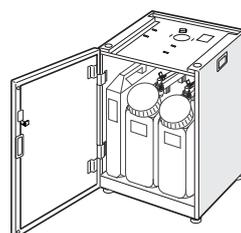


### Tタイプ (下部給水・排水容器付)

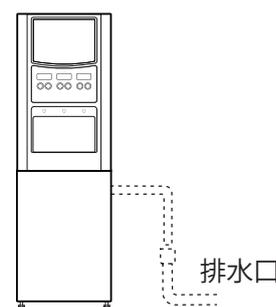
置台CT-33Lと連結して、給水は水タンク (15L×2個) から内蔵ポンプで給水し、排水は排水タンク (10L) または、排水口に直接排水して使用します。置台内部に浄水器 (水フィルター) が組み込まれています。



※排水を直接排水で使用することもできます。排水設備のある場合は、直接排水でお使いいただくことをお勧めします。水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。(変更方法は12ページ参照)

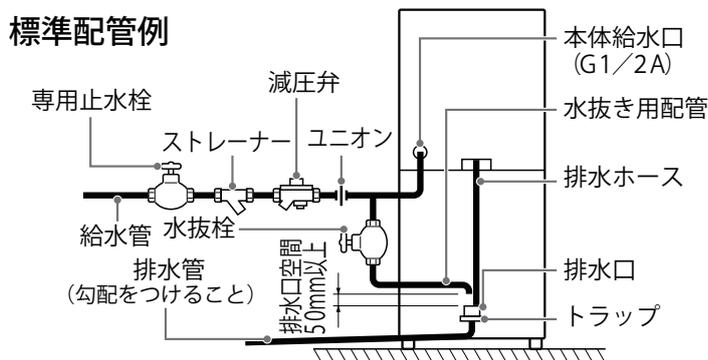


置台CT-33L



## 配管工事

上水道を使用する場合は、当該水道局の条例に基づき、認定工事業者が施工してください。



※水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上確保してください。

### 給水配管

配管工事は据付地区の気象条件にあわせ、標準配管例に準じて施工します。

また、寒冷地区は凍結防止処理を標準配管例に準じて施工します。

配管は耐食性のあるステンレス管や合成樹脂内面処理管などを水質により選定し、配管材料は切断後、必ずバリを取って使用してください。

配管材料を製品本体に接続する前に、必ず捨て水をして、配管内のゴミ・シール材などを洗い流してから接続してください。油汚れ、バリやゴミなどが入ると動作不良や異味、異臭の原因になります。

保守・点検や水漏れの対策として、給水側に専用止水栓と水抜き栓と減圧弁を設け、減圧弁の出口側にはユニオンを設けてください。水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上設けてください。

また、専用止水栓の後にストレーナーを設けることにより、給水側から製品本体への異物侵入を防ぎます。

### 排水配管

使用する排水管は、熱いお湯が流れるので耐熱性のある管を使用してください。

また、防臭・湯気の逆流防止のためにトラップを設けてください。

排水ホースや排水管は排水皿からの流水が流れやすいように下り勾配にしてください。

#### 別売の漏水検知装置の取り付けをおすすめします

水漏れのときに、給水を止め拡大被害を防ぎます。

据え付けのタイプにより適合する漏水検知装置は以下の通りです。

Dタイプ・PAタイプ…漏水検知装置 (RKT-25)

PBタイプ・Tタイプ…ドレンパン (RKT-01P) + 漏水センサー (RKT-04P)

## Dタイプ (卓上) で使用する場合 [水道直結・直接排水式]

### 給水配管の接続

製品本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して給水配管をします。給水口の口径はG1/2Aです。

### 排水配管の接続

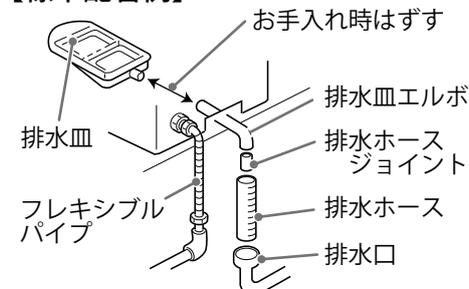
排水皿に付属の排水皿エルボ、排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。

排水皿のお手入れは、排水皿エルボからはずして行ってください。

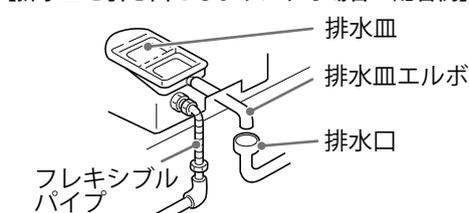
排水皿のお手入れをやすくするために、排水皿を引き出せるように配管 (右下図) をする場合は、排水皿の位置ズレによる水漏れを防ぐため裕度必要ですので、排水口部をΦ50mm以上の配管またはロート形状にしてください。また、別売のDタイプ専用アジャスター (AJT-D) やDタイプ専用置台 (CAT-15M-W/CAT-15M-B) を使用し、お手入れをやすくする方法もあります。

詳しくは販売店へご確認ください。

#### 【標準配管例】



#### 【排水皿を引き出せるようにする場合の配管例】

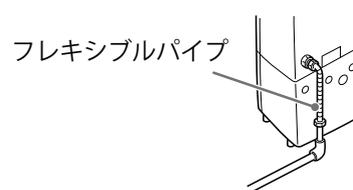


# 据付工事 (つづき)

## PAタイプ (置台CAT-10L) で使用する場合 [水道直結・直接排水式]

### 給水配管の接続 (浄水器無の場合)

製品本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して給水配管をします。給水口の口径はG1/2Aです。

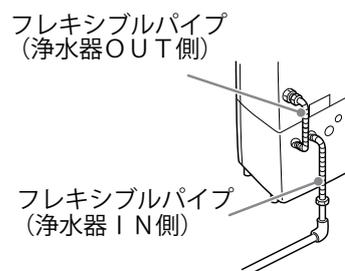


### 給水配管の接続 (浄水器付の場合)

置台背面の穴からユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、置台内部の浄水器のIN側の継手に給水配管をします。

浄水器の継手の口径はG1/2Aです。

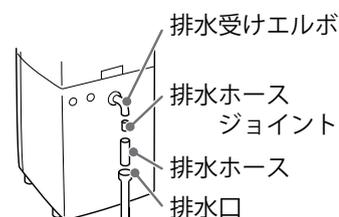
また、置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と製品本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



### 排水配管の接続

「置台を使用する場合の排水皿処置」(12ページ参照)をおこない、置台背面から出ている排水受けエルボに排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。

排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。



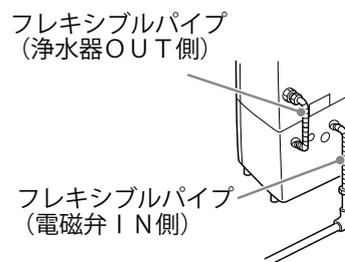
## PBタイプ (置台CAT-10L+排水容器キットOKT-11L) で使用する場合 [水道直結・容器排水式]

### 給水配管の接続

排水容器キットを同梱されている取付説明書に従い置台内に取り付け、置台背面の穴からユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、置台内部の電磁弁のIN側の継手に給水配管をします。

電磁弁の継手の口径はG1/2Aです。

また、置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と製品本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



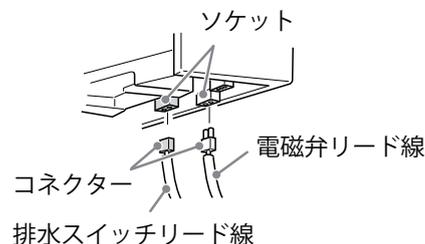
### リード線の接続

電源スイッチ (漏電遮断器) が切れていることを確認します。

置台の排水スイッチと電磁弁のリード線のコネクターを製品本体底部のソケットへ差し込みます。

製品本体の排水皿を取り出し、製品本体と置台の隙間から覗くとソケットが見えて作業しやすくなります。

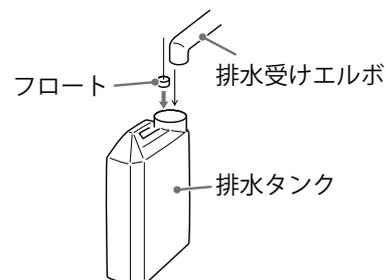
差し込んだ後は軽い力で引っ張り、抜けないことを確認してください。



### 排水配管の接続

「置台を使用する場合の排水皿処置」(12ページ参照)をおこない、置台上部の排水受けエルボが、廃液タンクの上に位置していることを確認し、排水スイッチのフロートを廃液タンクの中に入れます。

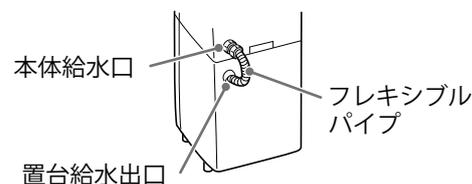
フロートを正しく入れないと水漏れになります。



## Tタイプ（置台CT-336LU）で使用する場合 [下部給水・容器排水または直接排水式]

### 給水配管の接続

置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と製品本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



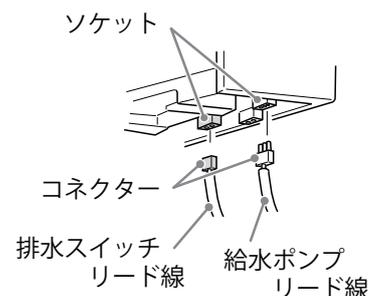
### リード線の接続

電源スイッチ（漏電遮断器）が切れていることを確認します。

置台の排水スイッチと給水ポンプのリード線のコネクターを製品本体底部のソケットへ差し込みます。

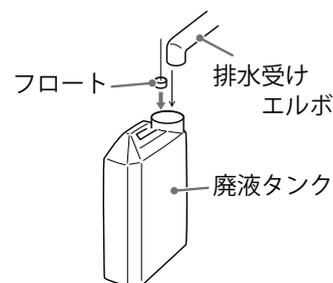
製品本体の排水皿を取り出し、製品本体と置台の隙間から覗くとソケットが見えて作業しやすくなります。

差し込んだ後は軽い力で引っ張り、抜けないことを確認してください。



### 排水方式の選択と排水配管の接続

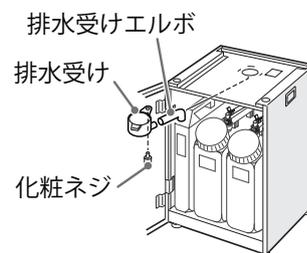
排水は容器排水と直接排水のどちらかを選択できます。工場出荷時は容器排水式にセットされていますが、排水設備のある場合は、直接排水でお使いいただくことをお勧めします。水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。



#### 容器排水の場合

「置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けエルボが廃液タンクに導かれていることを確認し、廃液タンクをセットすると排水スイッチのフロートが廃液タンクの中に入ります。

フロートが正しく入らないと水漏れになります。

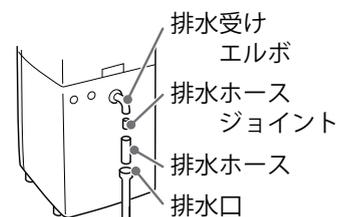


#### 直接排水の場合

「置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けを化粧ネジをはずし、排水受けエルボが背面に突き出るように排水受けを取り付け直します。

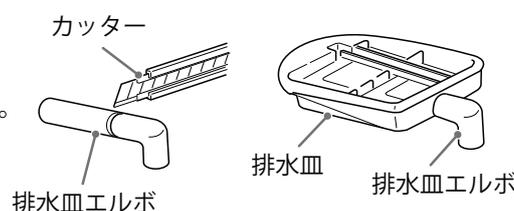
排水受けエルボに排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。

排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50 mm以上差し込みます。排水ホースの先端がつぶれたり排水管に密着してふさがれていないか確認してください。



### 置台を使用する場合の排水皿処置

- ①製品本体に付属の排水皿エルボを切り込み線からカッターなどで切断します。
- ②排水皿エルボを、先端が下向きになるように排水皿に接続します。
- ③排水皿を製品本体にセットし、排水皿エルボの先端が置台上部の排水受けに、正しく向いていることを確認します。



# 据付工事 (つづき)

## 電気工事

電気設備に関する技術基準および内線規定に基づき、指定工事業者が施工してください。

### アース (接地) 線の接続

電源を接続する前に、アース (接地) はD種接地工事 (接地抵抗100オーム以下) をおこない、確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。

### 電源の接続

電源は交流100V、定格15A以上の専用コンセントを使用してください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

専用コンセントは製品本体に異常があるときに、電源プラグを抜くことができる場所に施工してください。

## 警告

### アース (接地) の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事 (接地抵抗100オーム以下) をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

### 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。発火したときにやけどや火災の原因になります。



コンセントを単独で使用

## チェックポイント

設置が終了したら次の項目をチェックしてください。

### 設置のチェックポイント

- 据え付けた床面の強度は十分ですか？
- 製品本体はぐらつかず安定していますか？
- 風通しが良く、保守サービスが可能ですか？

### 配管工事のチェックポイント

水道直結の場合

- 配管は設置地区の基準に従っていますか？
- 専用止水栓はついていますか？
- ストレーナー、減圧弁の取付方向と位置は適切ですか？

直接排水の場合

- 排水ホースは折れ、曲がり、ねじれはありませんか？
- 排水ホースの先端が排水口の中に50mm以上差し込まれていますか？
- 排水ホースの先端がつぶれたり、排水管に密着してふさがれていませんか？
- 排水管にトラップは設けてありますか？

### 電気工事のチェックポイント

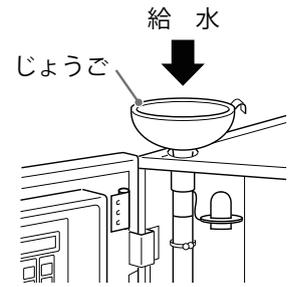
- アースの接続は確実ですか？
- 接地抵抗を測定し100オーム以下でしたか？
- 電源プラグは、専用コンセント (100V・15A以上) に確実に接続してありますか？

# はじめてご使用になる前に

次の手順で試運転を行いながらチェックをしてください。

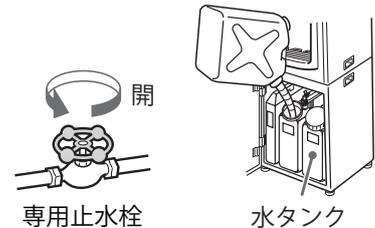
## 1. 冷却用タンクに給水する

- ①本体上部中央のネジ（1本）をはずし、上面板をはずしてください。
- ②給水ホースは製品本体内部左側にあります。  
ホースを本体にセットしたまま、ホース先端のキャップをはずし、じょうごをホースの先端に差し込んでください。  
（じょうごは本体内部左側面の下側にあります）
- ③周囲に水をこぼさぬよう上から給水してください。冷却用タンク（4.9L）が満水になると下部の排水皿に水が流れますので給水を止めてください。  
じょうごをはずしてホースの先端をキャップで確実に閉めてください。
- ④はずしたネジで上面板を確実に固定してください。



## 2. 製品へ給水する

D/P A/P Bタイプ(水道直結式)の場合は専用止水栓を開きます。  
Tタイプ(下部給水式)の場合は、別売の給水タンクなどで置台の水タンク2個に満水レベル（15L）まで給水します。



注意

### 2つの水タンクに給水してから電源を入れる

水タンクが空の状態や、1つのタンクに給水しただけで電源を入れると正常に給水できなく、ポンプの故障の原因になります。

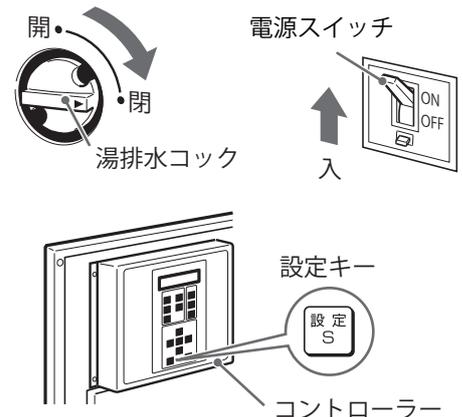


指示

## 3. 電源を入れる

カップステーションの後ろ側にある湯排水コックが閉まっていることを確認し、電源スイッチ(漏電遮断器)のレバーを上げ電源を入れます。電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

断水や水タンクが空になるなど、一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅し給水を中断します。水道直結式の場合は給水を確認してから、下部給水式の場合は水タンクに水を補給してから、コントローラーの「設定」キーを押すと、給水を再開します。



## 4. 排水する

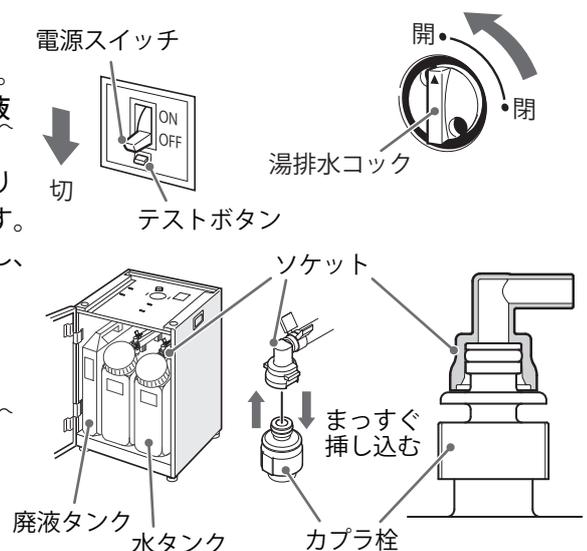
電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを下げ電源を切ります。

電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。

カップステーションの後ろ側にある湯排水コックを開いて排水します。  
**P B/Tタイプで置台の廃液タンク(約10L)をご使用の場合は、廃液タンクが空の状態**で製品本体の排水をしてください。廃液タンクに残水がある状態で製品本体の排水(約6L)をすると溢れる場合があります。製品本体の排水が終わったら、廃液タンクの残水を排水します。  
Tタイプ(下部給水式)の場合は、水タンク上部のソケットをはずし、水タンクを取り出して残水を排水します。

### ●カプラの脱着

はずすときは、ソケットを上方へ持ち上げてカプラ栓から抜きます。  
**接続はソケットを突き当たるまでまっすぐに差し込みます。斜めに挿入すると密閉性が悪く、水を吸い上げなくなる場合があります。**  
最後にソケットが奥まで挿入されていることを確認してください。



## 試運転時のチェックポイント

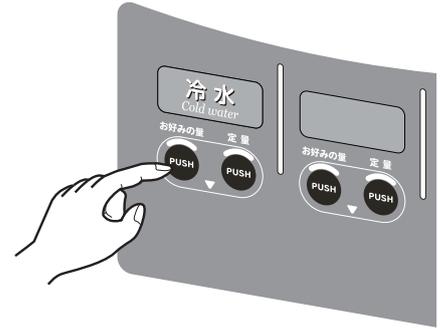
- 給水中、給水完了後、排水時に製品本体、および各配管接続部から水漏れはありませんか？
- P B/Tタイプの場合に、廃液タンクフロートを持ち上げると、排水ランプが点滅しますか？
- 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを押して「切」になることを確認しましたか？  
電源スイッチは漏電遮断器をかかえています。テストボタンを押し、レバーが「切」になれば正常です。

# お願い

## 長時間お使用にならないとき

### 2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがありますので、湯タンクの水を新しい水道水と入れ替えてください。14ページの「排水する」に従い湯タンクの排水をします。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。また、本体内の残水をすてるために、「冷水」を5～6回抽出します。



### 1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。

D/P A/P Bタイプ(水道直結式)の場合は専用止水栓を閉め、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、14ページの「排水する」に従い排水してください。



注意

2日以上使用しないときは湯タンクと置台の水タンクの水を排水する

2日以上ご使用にならないときは、湯タンクと置台の水タンクの水を排水してください。雑菌繁殖の恐れがあります。



指示

## お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

## お手入れをするとき

クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、ベンゾールなどを使用しないでください。

変質・変色・破損の原因となる場合があります。

また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着したまま放置すると、変色の原因となる場合がありますので、付着した場合は速やかにふき取ってください。

# 茶の葉の入れかたと交換条件

## ⚠ 警告

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない  
けがをする原因になります。



接触禁止

## ⚠ 注意

### 指定の原料以外は使用しない

原料の種類によって茶の葉の大きさなどが異なると、正常な動作ができないことがあります。  
詳しくは、販売店にご相談ください。



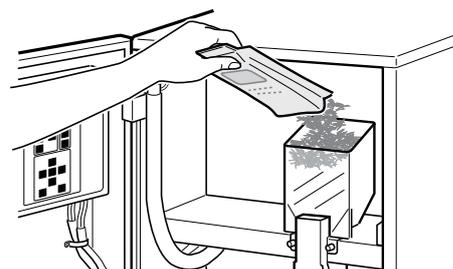
指示

## 茶の葉を入れる

茶の葉は、原料容器の蓋を取り、上から静かに入れてください。原料容器の容量は、約1,200ml（専用茶で約420g）です。

原料容器をたたいたりして、茶の葉を無理に詰め込まないでください。内部で詰まり出なくなることがあります。

茶がら容器が一杯になる前に、茶がらを捨ててください。



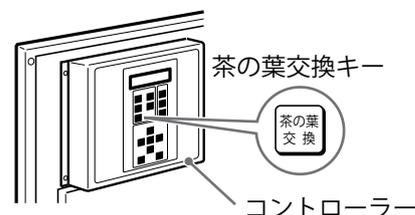
## 茶の葉の交換条件の変更

出したお茶の量をマイコンが記憶し、設定した量に達すると自動的に茶の葉を交換します。茶の葉の交換条件はコントローラーで設定することができます。「茶の葉の交換条件を設定する」（34ページ参照）。

## 手動で交換するとき

お手入れの後や手動で交換したいときは、前面板を開けコントローラーの「茶の葉交換」キーを押します。

「茶の葉交換」キーは、連続して押すと、故障の原因となります。茶の葉が出終わった後、10秒以上の間隔をあけてください。



# コントローラーの使いかた

## コントローラーで設定できる機能

### 冷水機運転キー

冷水機の運転、停止を設定します。

### リンスキー

抽出部の洗浄動作を行います。動作時の湯・水量、定期的にリンスを行う設定は「選択」キーによる「自動リンス」で行ってください。

### 沸騰キー

湯タンクの沸騰動作を行います。沸騰動作中にキーを押すと解除します。また、定期的に沸騰を行う設定は「選択」キーによる「沸騰制御」で行ってください。

### タイマー解除キー

このキーを押し「イチジカイジョ」に設定すると、次の休止中条件が一時解除され運転・抽出ができますようになります。

- ・適温になっていない
- ・「学習省エネ」「週間予約」「休日予約」「抽出時間帯」で休止中

### エコ運転キー

キーを押すごとに「学習省エネ運転」「エコモード運転」「通常運転」を切替えます。  
(各運転モードについては37ページ参照)

### 茶の葉交換キー

キーを押すと茶こしが動作します。動作中は交換機構部に絶対に手を触れないでください。

### 設定キー

入力操作した内容が設定されます。また故障解除時にキーを押します。

### 表示部

待機画面では、現在時刻・湯タンク・冷水機の運転状態および温度を表示します。飲料が抽出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

### 湯・水・原料キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

### カウンターキー

トータル→ボタン別の累計抽出回数を順次自動送り表示します。

### 選択キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

### 訂正キー

表示部の指示により設定内容を変更・自動表示送りを停止をするときに使用します。

### 終了キー

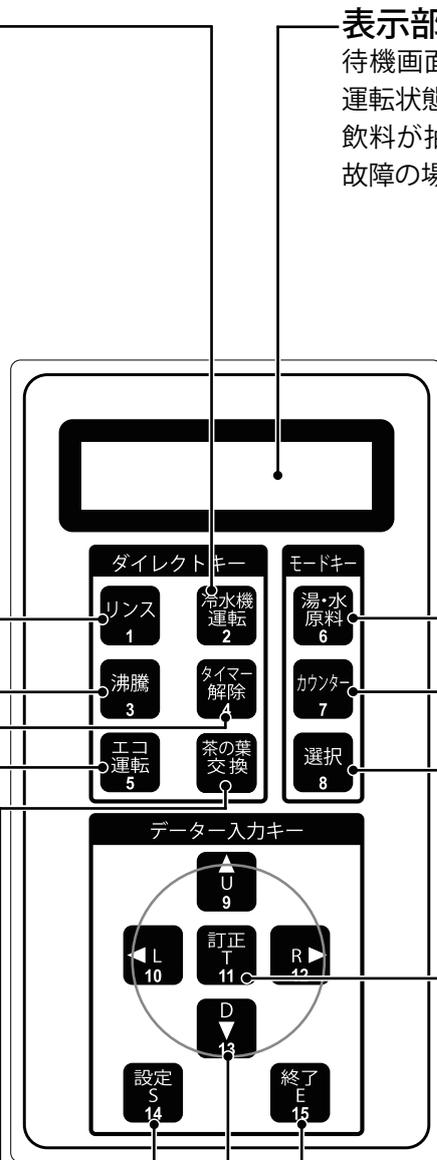
待機画面に戻ります。「リンス」「沸騰」の動作中はボタンを押しても待機画面に戻りません。

### カーソルキー

表示画面の中で設定する項目送り、項目・内容・数値選択・自動送り表示を停止するのに使います。

◀ ▶ : 項目・内容選択

△ ▽ : 項目送り、内容・数値選択、自動送り表示停止



湯・水 原料	キー
-----------	----

機能	内容
原料（初回）	茶の葉を交換して最初に茶こしに入れる茶の葉量を設定できます。
原料（追加）	お茶の濃度を均一にするために、2杯目以降に追加する茶の葉量を設定できます。初回の茶の葉だけでお茶を出すと、数杯は濃く出ますがその後は次第に薄くなります。追加機能は抽出するごとに茶の葉を追加するので、お茶の濃さをほぼ同じにすることができます。
湯・水	各飲料ボタンの湯または水の抽出する量を設定できます。
交換湯量	新しい茶の葉と交換する累計抽出湯量を設定できます。抽出量ではなく抽出回数で新しい茶の葉と交換することもできます。
交換時間	お茶が出がらしにならないように、自動で新しい茶の葉と交換する時間を設定できます。
湯・水追加	お茶を2時間以上放置したときの、1杯目の抽出量を増やす割合を設定できます。

選択	キー	※休止履歴、故障履歴、チェックは「通常設定」選択時に確認できる項目です。
----	----	--------------------------------------

機能	内容
休止履歴	休止があった場合、最新の休止20項目が表示されます。
故障履歴	故障があった場合、最新の故障20項目が表示されます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。
現在時刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は年月日に合わせて自動修正されます。
湯温	湯温（お湯の沸き上げ温度）の設定ができます。
週間予約	曜日ごとに運転時間を設定できます。休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。
休日予約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。
沸騰制御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。
自動リンス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に抽出口や配管などを自動的にリンス（洗浄）することができます。またリンスするときの湯・水の量、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えも設定できます。（※除菌浄水器（水フィルター）が必要です。）

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 選択 キー

機能	内容
浄水器交換	除菌浄水器（水フィルター）の交換時期を設定し、交換時期に達した時に警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。 この機能は別売の除菌浄水器付の置台または除菌浄水器（水フィルター）が必要です。
冷却水交換	冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換時期に達した時に警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。
給水方式	この機能は置台 (CT-33L) のポンプ、および排水容器キット (OKT-11L) と漏水検知装置 (RKT-25) に使用している外部電磁弁の動作のパターンとその最大動作時間を切り替えるものです。 動作のパターンは、「下部タンク」と「水道」が設定できます。 「下部タンク」は給水要求（フロートスイッチが下がる）の都度、ポンプの運転、外部電磁弁の開動作を行い、「水道」は漏水を検知したとき以外は常に開動作しているように設定するものです。 <b>置台 (CT-33L) を使用している場合は、必ず「下部タンク」に設定してください。（工場出荷時は「下部タンク」に設定しています。）</b> 最大動作時間は、水道の断水や、置台の水タンクが空であることを検知するために設定します。一度の給水で、設定された連続時間を超えると「休止モニター」に表示して、給水動作を停止させます。 「下部タンク」に設定した場合は5分間、「水道」に設定した場合は5～10分間の設定が可能です。
動作音	各種動作音の有無を設定できます。 （コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音）
基準値	湯・水の設定値と実際の抽出量との違いを補正する機能です。 この機能で設定することにより、「湯・水・原料」の機能で設定した量を正しく出すことができますようになります。
チェック	マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。

## 数値設定する機能の設定可能値

機 能			設定可能値	設定のきざみ
湯・水・原料	原料の量	初回	0.1g～10.0g	0.1g
		追加(注1)	0.0g～3.0g	0.1g
	湯・水の量(注2)		50ml～200ml・連続	1ml
	交換湯量(注3)		1回～9回 100ml～1400ml	1回、100ml
	交換時間		0分～30分	1分
湯・水追加		0%～50%	10%	
湯 温	湯 温		73℃～98℃	1℃
週 間 予 約	週間予約動作		する・しない	
	曜 日		月～日・一括(月～金)	
	時 刻(注4)	ON時刻	00:00～23:59・連続	1分
		OFF時刻	00:00～23:59・連続	1分
冷水機運転		する・しない		
休 日 予 約	休日予約動作		する・しない	
	年月日	開始日	190101～491231	1日
		完了日	190101～491231	1日
沸 騰 制 御	沸騰動作		する・しない	
	時 刻(注5)		00:00～23:59・しない	1分
自 動 リ ン ス	リンス動作		する・しない・週間予約同期	
	曜 日		月～日・毎日	
	時 刻(注5)		00:00～23:59・しない	1分
	湯 量		1ml～200ml	1ml
	水 量		1ml～200ml	1ml
除菌浄水器(水フィルター)		0ml～5000ml	1ml	
浄 水 器 交 換	交換時期動作		警告・停止・しない	
	開始日・使用期限		190101～491231	1日
冷 却 水 交 換	交換時期動作		警告・停止・しない	
	開始日・使用期限		190101～491231	1日
給 水 方 式	給水方式		水道・下部タンク	
	最大動作時間(注6)		5分～10分	1分
動 作 音	操作音		する・しない	
	抽出音		する・しない	
	リンス動作音		する・しない	
	沸騰動作音		する・しない	
基 準 値	お茶量		1ml～200ml	1ml
	湯 量		1ml～200ml	1ml
	水 量		1ml～400ml	1ml
	原料量		0.1g～20.0g	0.1g

●湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。

●工場出荷時は標準的な使いかたの値が設定されています。くわしくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。

(注1) 追加を「0.0g」に設定すると追加はしません。

(注2) 湯、水の量を「連続」に設定すると、その飲料ボタンは押している間だけ飲料を抽出します。

(注3) 交換湯量は「1回～9回」に設定すると抽出回数で、「100ml～1400ml」に設定すると抽出量で新しい茶の葉と交換します。「1回」に設定すると毎回新しい茶の葉と交換します。

原料の量と交換湯量の組み合わせによっては、交換動作が可能な交換湯量設定に自動調整される場合があります。

(注4) 時刻を「連続」に設定すると終日運転または終日停止になります。

(注5) 時刻を「しない」に設定すると動作はしません。

(注6) 給水方式「水道」のときのみ設定変更可能です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 初期設定・通常設定の選択

初めてご使用の際は、「初期設定」を選択し、メニューに表示される各項目の設定を完了してください。  
使用開始後の設定の際は、「通常設定」をご利用ください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		R・L デエランデセンタク シヨキセツテイ ツウジョウ	待機画面から、「選択」キーを押して、左の画面を表示させます。
2		R・L デエランデセンタク シヨキセツテイ ツウジョウ	 キーで「初期設定」か「通常設定」を選択し、「選択」キーで各項目を呼び出し、設定を行います。

## 初期設定を完了する

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		R・L デエランデ センタク シュウリョウ? Yes / No	前項の「初期設定・通常設定の選択」で、「初期設定」を選択し、表示される各項目の設定を行います。 「選択」キーを押して項目を進めていくと、最後に左記画面が表示されます。
2		R・L デエランデ センタク シュウリョウ? Yes / No	 キーで点滅を「Yes」に移動します。
3		待機画面に戻ります。 R・L デエランデセンタク シヨキセツテイ ツウジョウ	「選択」キーを押すと設定が完了します。 初期設定の完了後に待機画面から、「選択」キーを押して、左の画面を表示させると、「ツウジョウ」が点滅します。

## 給水方式を設定する

〔例〕 給水方式を水道直結タイプとし、最大動作時間を10分に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウスイ ホウシキ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キュウスイ ホウシキ MAX カブタンク 5	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ホウシキ」の下が点滅します。
4	 	キュウスイ ホウシキ MAX スイドウ 10	キーで「ホウシキ」を「スイドウ」にします。次に  キーで点滅位置を移動し、 キーで「MAX」を「10」にします。
5		キュウスイ ホウシキ MAX スイドウ 10	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 下部給水タイプは給水を「カブタンク」の設定（工場出荷時設定）でご使用ください。
- 水道直結タイプは給水を「スイドウ」の設定でご使用ください。

## 動作音を設定する

〔例〕 沸騰動作中の動作音を消す。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ドウサオン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ソウサオン スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ソウサオン」が点滅します。
4	 	フットウドウサオン スル	キーで「フットウドウサオン」の画面を表示させます。「スル」に設定してあると動作中に音が鳴ります。
5	 	フットウドウサオン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」を「シナイ」にします。
6		フットウドウサオン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 以下の各動作音の有無を設定できます。  
コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 基準値を設定する

この機能は「湯・水・原料」機能(33~35ページ参照)で設定する量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、メスシリンダーやはかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キジュンチ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		オチャ ヌ ミズ キジュン 150 198 270	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「キジュン」が点滅します。
4	  	オチャ ヌ ミズ キジュン 140 198 270	キーで「オチャ」の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、お茶の飲料抽出口からお湯が出てきますので、容器で受けて計量します。 数回測定して出した平均値を  キーで入力します。 ここでは仮に140mlとします。
5		オチャ ヌ ミズ キジュン 140 198 270	「設定」キーを押し、設定を確定します。 同様に「ユ」、「ミズ」も設定します。
6	 	ゲンリョウ キジュン 13.0	キーで「ゲンリョウ」の画面を表示させます。
7	  	ゲンリョウ キジュン 12.5	キーで「ゲンリョウ」の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、原料容器から原料が出てきますので、容器で受けて計量します。 数回測定して出した平均値を  キーで入力します。 ここでは仮に12.5gとします。
8		ゲンリョウ キジュン 12.5	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアを行ったときは、基準値設定をしてください。

## 週間予約を設定する

[例] 日曜日を終日停止、その他の日は8：00から20：00の間運転とし、冷水機も同様の運転とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*シュウカン ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4		ヨヤク スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ヨウビ ON OFF イッカツ レンゾク **：**	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面を表示させます。
7		ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ON」を「08：00」、「OFF」を「20：00」にします。
8		ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		ヨウビ ON OFF (日) レンゾク **：**	キーで「ヨウビ」の下が「日」の画面を表示させます。
10		ヨウビ ON OFF (日) レンゾク レンゾク	キーで点滅位置を移動し、 キーで「OFF」を「レンゾク」にします。
11		ヨウビ ON OFF (日) **：** レンゾク	「設定」キーを押し、設定を確定します。 ON時刻は自動的に「**：**」となります。
12		レイスイキ ウンテン スル	キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
13		レイスイキ ウンテン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シナイ」にします。
14		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序6で「ヨウビ」を「イッカツ」にすると、月曜日から金曜日までの開始・終了時刻を一括設定できます。
- 順序13で「レイスイキ ウンテン」を「スル」に設定すると、先に設定した週間予約に関係なく、運転停止中でも冷水機だけは運転します。
- 「ON」を「レンゾク」に設定すると終日運転に、「OFF」を「レンゾク」に設定すると終日停止になります。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 休日予約を設定する

[例] 2026年7月15日から2026年7月17日まで運転を休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウジツ ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4	 	ヨヤク スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	1カイメ カイシ シュウリョウ 190101 190101	キーで「1カイメ」の画面を表示させます。
7	 	1カイメ カイシ シュウリョウ 260715 260717	キーで点滅位置を移動し、 キーで「カイシ」を「260715」、「シュウリョウ」を「260717」にします。
8		1カイメ カイシ シュウリョウ 260715 260717	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	レイスイキ ウンテン スル	キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
10	 	レイスイキ ウンテン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シナイ」にします。
11		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクや別売置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。また、各飲料ボタンを5～6回押して注水動作を行い、配管内の残水を排水してください。

## リンスする

### すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンスチュウ* ネットウガ デマスノデ チュウイ シテクダサイ	キーを押すとリンスを実行し、リンスが終了すると待機画面に戻ります。

25 ●リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

## 定期的にリンスをする場合

[例] 毎日、11:00と16:00と22:00に湯量40ml、水量30mlでリンスを行い、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え量を 3000ml に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジドウリンス* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		リンス スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「リンス」が点滅します。自動リンスを行わない場合は、カーソルキーと「設定」キーで「シナイ」に設定してください。
4	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 07:00 シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「1カイメ」「2カイメ」の画面を表示させます。
5	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	キーで点滅位置を移動し、キーで「1カイメ」を「11:00」、「2カイメ」を「16:00」にします。
6		ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ シナイ シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「3カイメ」「4カイメ」の画面を表示させます。
8	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	キーで点滅位置を移動し、キーで「3カイメ」を「22:00」にします。
9		ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
10	 	ユ ミズ リョウ 200ml 50ml	キーで「リョウ」の画面を表示させます。
11	 	ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	キーで点滅位置を移動し、キーで「ユ」を「40」、「ミズ」を「30」にします。
12		ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
13	 	ジョウスイキ リョウ 3000ml	キーで「ジョウスイキ」の画面を表示させ、キーで「ジョウスイキ」を「3000ml」にします。
14		ジョウスイキ リョウ 3000ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序3で「リンス」を「シュウカンヨヤクドウキ」（週間予約同期）に設定すると、「週間予約」（「週間予約を設定する」24ページ参照）の設定OFF時刻にリンスを行います。
- 順序13で「ジョウスイキ」を設定すると、動作設定してある曜日に1日1回だけ、1回目のリンス時刻に除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えを行います。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 湯温を設定する

[例] 湯温を95℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユオン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ユオン 93℃	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユオン」の下が点滅します。
4	   	ユオン 95℃	  キーで「95」にします。
5		ユオン 95℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 沸騰させる

すぐに沸騰させたい場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウチュウ*	「沸騰」キーを押すと左記画面が順次自動表示され沸騰動作を開始します。 沸騰が終了すると待機画面に戻ります。
		ジョウキガ デマスガ イジョウ デハ アリマセン	

●沸騰動作中に「沸騰」キーを押すと解除します。

定期的に沸騰させたい場合

[例] 8：30と11：30に沸騰させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウセイギョ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		フットウ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「フットウ」が点滅します。
4	 	フットウ スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「スル」にします。
5		フットウ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイスウ 1カIME 2カIME ジコク シナイ シナイ	 キーで「ジコク」の画面を表示させます。
7	 	カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 08：30 11：30	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「1カIME」を「8：30」、「2カIME」を「11：30」にします。
8		カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 08：30 11：30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 浄水器の交換時期を設定する

この機能を使用するには別売の除菌浄水器（水フィルター）または除菌浄水器付の置台が必要です。

[例] 2026年10月1日に浄水器を交換し、次の交換時期を1年後の2027年10月1日とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジュウスイキ コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		<b>コウカン</b> シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4	 	コウカン <b>テイシ</b>	キーで点滅位置を移動し、 キーで「テイシ」にします。
5		<b>コウカン</b> テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイシビ <b>シヨウキゲン</b> 190101 200101	キーで年月日の画面を表示させます。
7	 	カイシビ シヨウキゲン 190101 <b>271001</b>	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シヨウキゲン」を「271001」にします。
8		カイシビ <b>シヨウキゲン</b> 261001 271001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。

「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。

●「カイシビ」の年月日は「シヨウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。

「コウカン」の設定内容の変更は「カイシビ」の年月日を換えずに変更することができます。

## 冷却用タンクの水の交換時期を設定する

【例】 2026年10月1日に冷却用タンクの水を交換し、次の交換時期を1年後の2027年10月1日とする。  
交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイキャクスイ コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4	 	コウカン テイシ	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイシビ ショウキゲン 190101 200101	 キーで年月日の画面を表示させます。
7	 	カイシビ ショウキゲン 190101 271001	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「ショウキゲン」を「271001」にします。
8		カイシビ ショウキゲン 261001 271001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。  
「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。
- 「カイシビ」の年月日は「ショウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。  
「コウカン」の設定内容の変更は「カイシビ」の年月日を換えずに変更することができます。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 現在時刻を合わせる

[例] 26-11-1 11:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンザイジコク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		19 - 1 - 1 (火) 12:00	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
4		26-11-1 (日) 11:00	 キーで点滅位置を移動し、  キーで各項目を変更します。(曜日は自動修正されます。)
5		26-11-1 (日) 11:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 休止・故障履歴を見る（通常設定のみ）

[例] 故障履歴を見る。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		R・L デエランデセンタク シヨキセッテイ ツウジョウ	待機画面から、「選択」キーを押して、左の画面を表示させます。
2		R・L デエランデセンタク シヨキセッテイ ツウジョウ	 キーで「ツウジョウ」にします。
3		*コショウリレキ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
4		ナイヨウハ T→U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
5		8. 26-10-10 12:34 コイン シンゴウ イジョウ	「訂正」キーを押すと最新の内容20項目が新しいものから順次  キーにより表示されます。 画面内容は上段の左から履歴番号、故障の年月日、同時刻、下段に故障内容の表示となっています。
		9. 26- 6- 1 1:01 ユ センサー イジョウ	
6		待機画面に戻ります。	確認終了です。

● 休止履歴を見る場合は順序3で「キューシリレキ」を表示してください。

休止内容は下記項目を表示します。

- ・湯低水位
- ・湯温低い
- ・水温高い
- ・冷却準備中
- ・浄水器交換
- ・冷却水交換
- ・廃液タンク満水
- ・湯断水
- ・冷却水なし
- ・電源遮断
- ・電源復帰

● 故障内容は下記項目を表示します。

- ・時計異常
- ・メモリー異常
- ・電池異常
- ・加温異常
- ・湯センサー開放
- ・湯センサー短絡
- ・水センサー開放
- ・水センサー短絡
- ・漏水検知
- ・IBCセンサー異常
- ・冷水機異常
- ・茶の葉交換機構異常

● 表示される内容は置台の種類によって異なります。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 原料の量を設定する

[例] 初回8.0g、追加0.3gを設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ショカイ ツイカ 6.0 g 0.2 g	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ショカイ」の下が点滅します。
4		ショカイ ツイカ 8.0 g 0.3 g	 キーで「ショカイ」の下を「8.0」にしてください。次に  キーで「ツイカ」の下を点滅させ  キーで「0.3」にします。
5		ショカイ ツイカ 8.0 g 0.3 g	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 飲料の量を設定する

[例] 飲料ボタン3を量120mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ュ 1 100ml	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン ュ 3 120ml	 キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次に  キーで点滅位置を移動し  キーで「ユ」を「120ml」にします。
5		ボタン ュ 3 120ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 茶の葉を交換する

手動で茶の葉を交換したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*チャノハ コウカンチュウ* チャコシガ ドウサシマスノデ チュウイ シテクダサイ	「茶の葉交換」キーを押すと、左記画面が順次自動表示され交換動作を開始します。 交換が終了すると待機画面に戻ります。

●茶の葉交換動作中は交換機構部に絶対に手を触れないでください。

## 茶の葉の交換条件を設定する

[例] 交換湯量1,000ml、交換時間0分（交換しない）にする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コウカン ユリョウ ジカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン ユリョウ ジカン 800ml 30	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユリョウ」の下が点滅します。
4		コウカン ユリョウ ジカン 1000ml 0	  キーで「ユリョウ」の下を「1000ml」にしてください。次に  キーで「ジカン」の下を点滅させ   キーで「0（交換しない）」にします。
5		コウカン ユリョウ ジカン 1000ml 0	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●順序4で「ユリョウ」の下の数値を1～9にすると、「ユリョウ」の表示が「カイスウ」に変わり、茶葉を交換するまでの抽出回数を設定することができます。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 長時間放置後の抽出量の追加を設定する

[例] 飲料ボタン1を20%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ ツイカ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ユ 1 0%	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン ユ 1 20%	  キーで「ユ」の下を点滅させ   キーで「20%」にします。
5		ボタン ユ 1 20%	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 冷水機の運転・停止

[例] 冷水機を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイスイキ ウンテン* ナイヨウハ T オワリハ E	「冷水機運転」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		テイシ T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「テイシ」が表示されますので「テイシ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	冷水機の運転が停止します。設定完了です。

●1 週間以上、冷水機を停止させる場合は、冷却用タンクの水を排出してください。

## 適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマー イチジ カイジヨ* ナイヨウハ T オワリハ E	「タイマー解除」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		イチジ カイジヨ T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「イチジカイジヨ」が表示されますので「イチジカイジヨ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	抽出ができるようになります。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「ウンテン」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」「抽出時間帯」の休止条件で休止中の場合は、同じ操作で休止を一時解除できます。

## 累計の抽出回数を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カウンター* 191001 ホカハ U・D ~191231	「カウンター」キーを繰り返し押すと、年月日→トータル→ボタン1…ボタン6と抽出回数が順次表示されます。 (「カウンター」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
		トータル 007205 ホカハ U・D オワリハ E	
		ボタン6 000550 ホカハ U・D オワリハ E	
2		待機画面に戻ります。	確認終了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 運転モードを切り替える

[例] 「エコモード運転」に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内容
1		エコモードウンテン	「エコ運転」キーを押して「エコモード運転」を表示させます。
2	—	待機画面に戻ります。	自動で待機画面に戻り設定完了です。

- 運転モードは「通常運転」「エコモード運転」「学習省エネ運転」の3種類があります。

「通常運転」

お湯の沸き上げと冷却水の冷却を常におこなう運転モードです。

「エコモード運転」

過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯のお湯の沸き上げ温度を低めにして電力消費の多いお湯の沸き上げ運転を抑制し、冷却水の冷却は常におこなう運転モードです。

「エコモード運転」に設定されているときは、前面板操作部のecoランプが点灯します。

「学習省エネ運転」

過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯はお湯の沸き上げと冷却水の冷却を停止して、使用された時間帯も冷却水の冷却温度も高めにした運転をおこない、電力消費を積極的に抑制します。

ただし運転停止時間帯は、COLD飲料や冷水は冷却水が常温になっても常に抽出できますが、HOT飲料やお湯は適温（抽出可能温度）より低くなると抽出できなくなります。学習状況により運転停止時間帯が長い場合は、学習された利用時間帯になるまで抽出できませんのでご注意ください。

「学習省エネ運転」に設定されているときは、前面板操作部のecoランプが点灯します。

- 「エコモード運転」や「学習省エネ運転」でご利用の場合は、飲料の温度がぬるくなる場合があります。

## 警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る  
感電やけがの原因になります。



指 示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない  
ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

## 注意

お手入れ部品は確実に取り付けてください  
茶の葉交換動作をさまたげ故障の原因になります。



指 示

茶がら容器のサイズに合ったビニール袋を使用してください  
茶の葉交換動作をさまたげ故障の原因となります。



指 示

### 部品を取りはずし洗浄するとき

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

### 汚れが落ちにくいとき

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、水道水で洗剤を洗い流してください。

### 茶シブの洗浄はお早めに

茶シブを放置すると落ちにくくなります。早めにふきとってください。

### 原料容器を着脱するとき

茶の葉を入れたままで、原料容器を着脱するときは、その先端から茶の葉がこぼれないように、静かに取り扱ってください。

### お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れ、前面板を開けコントローラーの「茶の葉交換」ボタンを押し、茶こし網に新しい茶の葉を入れてご使用ください。

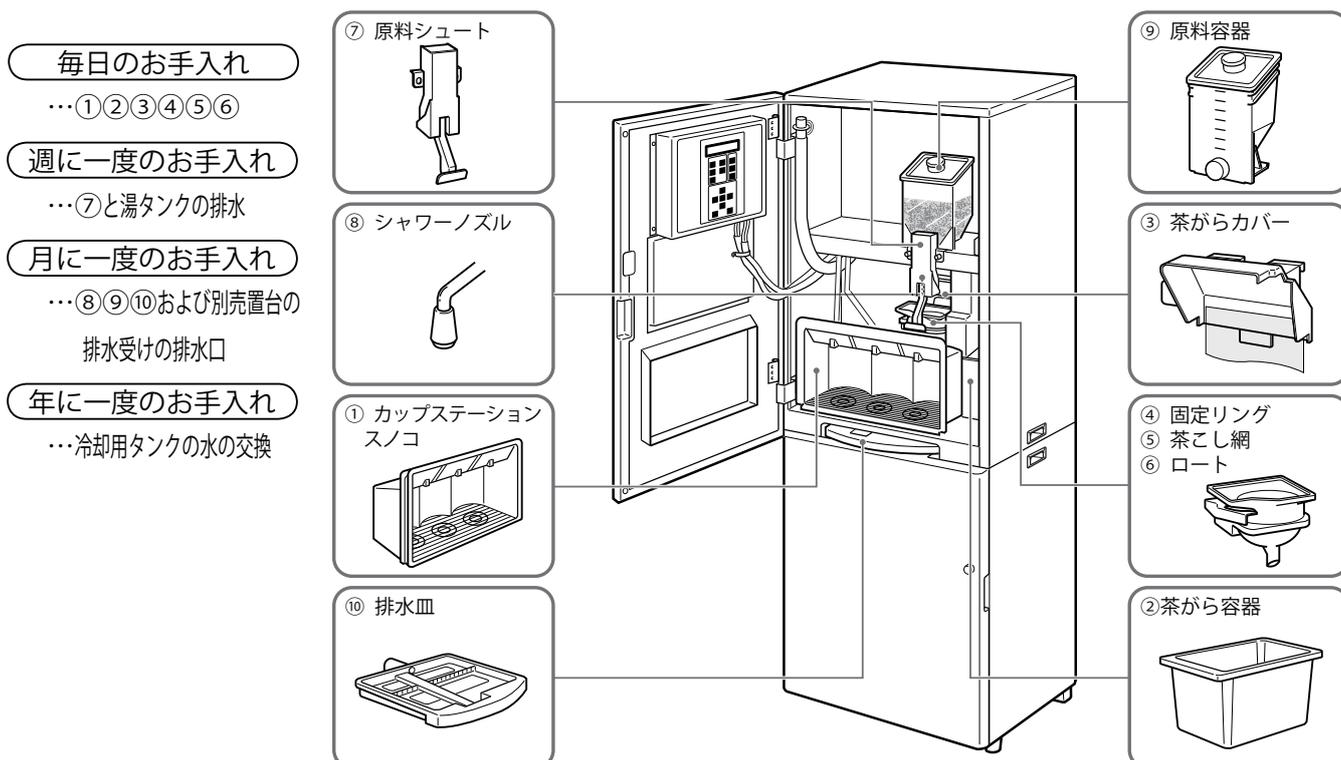
### お茶の使用量の多い場合

茶がら容器が一杯になる前に捨ててください。

## お手入れの時期と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違くと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

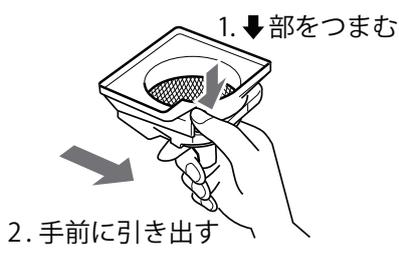
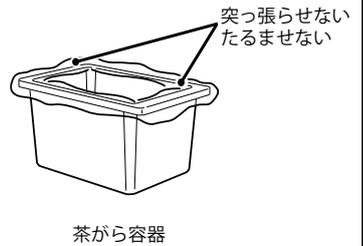


# お手入れ (つづき)

## 毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。機械内外のホコリや汚れは、きれいな布でふき取ります。

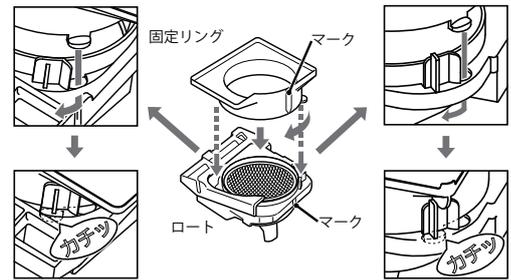
手順	部 品	お手入れのしかた
①	カップステーション	少し持ち上げてから、手前に取りはずします。洗淨した後は水気を良く切ってください。
②	茶 が ら 容 器	カップステーションをはずした後、手前にはずします。洗淨した後は水気を良く切ってください。茶がら容器に袋を使用するときは、茶がら容器の大きさにあったサイズの袋を使用してください。茶がら容器より小さい袋をかぶせると突っ張って容器の内側へはみ出しますので使用しないでください。茶がら容器よりも大きい袋は内側にたるみがないようにかぶせてください。
③	茶 が ら カ バ ー	上に軽く持ち上げてから、手前にはずします。洗淨した後は水気を良く切ってください。
④	固 定 リ ン グ	左側レバーをつまみ手前にはずします。固定リングを左に回して上にはずし、3つの部品を中性洗剤を薄めたぬるま湯で、やわらかいスポンジなどでこすり洗います。洗淨した後は水気を良く切ってください。
⑤	茶 こ し 網	
⑥	ロ ー ト	



## お願い (茶こしの取り扱いについて)

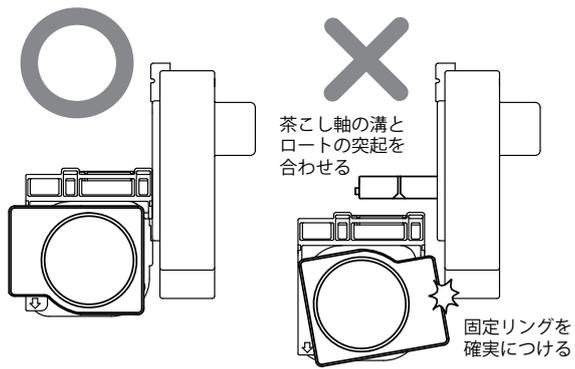
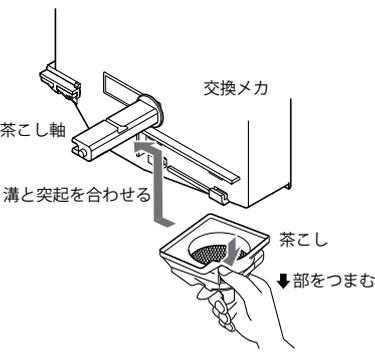
### 固定リングを取り付けるとき

固定リングを着脱するときは茶こしをはずした状態で行ってください。固定リングは取り付け方向がありますので十分に注意してください。固定リングの2ヶ所の爪をロートの取り付け穴に差し込み、カチッと音になって止まるまで右に回し確実に取り付けてください。取り付け後は固定リングとロートの位置合わせのマークが合っていることを確認してください。



### 茶こしを取り付けるとき

茶こしを取り付けるときは、固定リングが確実に取り付けられていることを確認し、左側のレバーをつまみながら取り付けてください。取り付けるときは交換メカの茶こし軸の溝とロートの突起(上下3ヶ所)が合うように注意して取り付けてください。



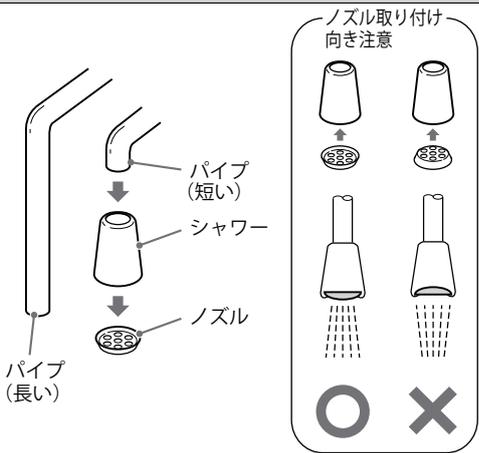
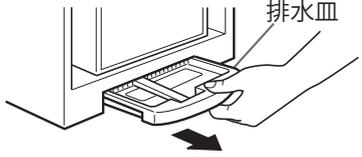
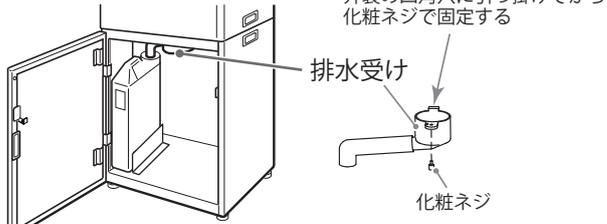
## 週に一度のお手入れ

①～⑥までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。  
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑦	原 料 シ ュ ー ト	化粧ネジ2本をゆるめ、上にずらして手前にはずし、ぬるま湯で洗います。 洗浄した後は十分に乾燥させてから取り付けます。
—	湯 タ ン ク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。(14ページ参照) ※自動的に湯タンクの水を入れ替える機能が設定してある場合は必要ありません。 詳しくは販売店へお問い合わせください。

## 月に一度のお手入れ

①～⑦までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。  
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑧	シャワーノズル	<p>パイプからシャワーとノズルをはずし、洗浄してください。湯垢などがたまり、目がつまってお湯の出が悪くなる場合があります。このようなときは、ノズルをシャワーからはずして、ピンのようなもので穴を通します。</p> <p>ノズルをシャワーに取り付けるときは、ノズルの凸が下になるように取り付けます。シャワーは確実にパイプに差し込んでください。</p> <p>パイプに原料や汚れが付着している場合はきれいな布でふき取ってください。</p> 
⑨	原 料 容 器	茶の葉を取り出して、ぬるま湯で洗浄した後は十分に乾燥させてください。
⑩	排 水 皿	<p>本体下部から手前に引き出してはずしてください。</p> <p>洗浄した後、水気をよく切り、奥に突き当たるまで確実にに入れてください。</p> <p>※奥まで挿入されていないと、排水が漏れ漏水や故障の原因となります。</p> 
—	置 台 排 水 口	<p>置台上部の排水受けがゴミなどで詰まることがあります。</p> <p>化粧ネジ(1本)を取り、排水受けをはずして点検してください。</p> <p>※ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。</p> <p>※清掃、洗浄後は確実に取り付けてください。</p> <p>確実に取り付けられていないと、廃液が漏れてしまいます。</p> 

# お手入れ (つづき)

## 年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

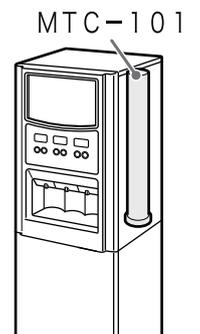
手 順	お手入れのしかた	
排 水 方 法	キャップをはめたまま本体からホースをはずして、バケツなどの排水する容器にホースの先端を入れてから、キャップをはずして排水します。 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。 ※冷却水は最大で約5Lです。 ※こぼさないように気を付けてください。	
給 水 方 法	本体上部中央のネジをはずし、上面板をはずします。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、じょうごをホースの先端に差し込み、上から給水を行います。 タンクが満水になり、本体底部の排水皿に水があふれてきたら給水完了です。 じょうごをはずし、上面板をネジで固定し、ホースにキャップをはめてください。 ※給水する水はろ過されていない水道水を使用してください。 ※水道水の硬度が高い地域では、異常冷却となり、製品が停止する場合があります。 詳しくは販売店へお問い合わせください。	

## 別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。

### カップホルダー (MTC-101)

カップを収納してご利用の際に引き出して使用するための部品です。  
4種類のカップサイズに対応し、製品の左右どちらにも取り付けられます。



### 浄水器カートリッジ (水フィルター)

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぎます。  
性能を維持するために定期的な交換が必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

### 自動洗浄装置 (JST-24)

給茶機を停止した休日明けなどに湯タンクの水を自動入れ替えするためのキットです。

### 漏水検知装置 (RKT-25) [D/PAタイプ用]

漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンのセットで、水漏れをセンサーが検知して、製品への給水や飲料の抽出を停止して水漏れの拡大を防ぎます。

### ドレンパン (RKT-01P) [PB/Tタイプ用]

製品の下に敷き、床を汚さないようにするための部品です。大きさは524mm×574mmで、深さは約20mmです。

### 漏水センサー (RKT-04P) [PB/Tタイプ用]

ドレンパンとセットで使用し、水漏れをセンサーが検知して、製品への給水や飲料の抽出を停止して水漏れの拡大を防ぎます。

# 修理サービスを依頼する前に

(つづく)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
飲料ボタンのランプが点灯しない	●コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	●休止モニターの表示に従ってください。
	●「学習省エネ運転」・「週間予約」・「休日予約」による休止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。コントローラーの「タイマー解除」キーで休止を一時解除することもできます。
断水ランプが点滅	●断水しているか、給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	●建屋の給水を確認し、給水配管の止水栓を開いてください。
	●置台の水タンクに水が十分に入っていますか？（下部給水タイプの場合）	●水を補給してください。
	●湯タンクの水位が低くありませんか？	●給水を確認して、コントローラーの「設定」キーを押してください。
	●冷却用タンクに水が十分に入っていますか？	●冷却用タンクに水を補充してください。
排水ランプが点滅	●置台の廃液タンクが満水ではありませんか？	●廃液タンクの水をすててください。
湯が沸かない 湯がぬるい	●「週間予約」や「休日予約」による休止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。コントローラーの「タイマー解除」キーで休止を一時解除することもできます。
	●「学習省エネ運転」や「エコモード運転」による湯タンク省エネ運転中ではありませんか？	●コントローラーの「タイマー解除」キーで休止を一時解除するか、前面の「沸上げ」ボタンを押すと湯を沸き上げます。
	●飲料温度の設定が低くありませんか？	●好みの温度に設定してください。
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックをしっかりと閉めてください。
冷水の冷えがわるい	●本体背面の排気口がふさがっていませんか？	●壁などから離して通気を良くしてください。
	●直射日光が当たっていませんか？	●窓にブラインドなどをしてください。
	●近くに熱器具がありませんか？	●熱器具と離してください。
	●連続して多量の冷水を抽出しましたか？	●再び冷えるまでしばらくお待ちください。
	●「学習省エネ運転」による省エネ運転中か運転停止中ではありませんか？	●運転再開までお待ちください。コントローラーの「タイマー解除」キーで休止を一時解除することもできます。
飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●湯・水・原料の量は適切ですか？	●好みの味になるように再設定してください。
	●原料の種類を変えていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料容器に原料が十分に入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器の出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがあります。つまりを取り除いてください。
	●原料容器に原料をつめすぎではありませんか？	●原料をつめすぎると原料が固まり、出てこない場合があります。原料を取り出して入れ直してください。
運転音大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけて、製品がグラグラしないように安定させてください。
	●製品が他の製品などに触れていませんか？	●他の製品から離してください。

# 仕 様

項 目		内 容			
製 品 寸 法		幅450mm×奥行515mm×高さ780mm (置台使用時1430mm)			
製 品 質 量		35kg (本体のみ)			
タ ン ク 容 量		湯タンク：5.6L、冷却水タンク：4.9L			
湯・冷 水 温 度		湯沸上げ温度：約93℃ (73℃～98℃可能)、冷水温度：約4℃			
原 料 容 器		約1200ml (専用茶で約420g)			
茶 の 葉 交 換		マイコン記憶による自動、又は茶の葉交換キーによる手動交換			
給 水 口 口 径		G1/2A			
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50Hz/60Hz共用			
	消費電力	給茶部：1015W、冷水部：145W/150W			
表 示		LEDランプ			
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター (1000W)	冷 却 装 置	圧 縮 機	完全密閉型
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール		凝 縮 器	プレートフィン付チューブ (強制空冷)
	安全装置	温度過昇防止器		冷 媒	ノンフロンHFO-1234yf (70g)
				温度調節	IBC (アイスバンクコントロール)
付 属 品		取扱説明書(簡易版)、鍵、排水皿エルボ			

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

### 保証期間

この製品の保証期間はご購入いただいた日から1年です。

### 修理を依頼される時は (出張修理)

42ページに従って調べていただき、異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

#### ■ご連絡いただきたい内容

製 品 名	
形 名	HPT-369LNF
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
お 客 様 情 報	ご住所、お名前、電話番号
販 売 店 情 報	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。
	TEL.

#### ■保証期間が過ぎている場合

保証期間経過後に修理対応が可能な場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。

#### ■修理料金のしくみ

修理料金は部品代・技術料・出張料などで構成されています。  
 部品代：修理に使用した部品の料金です。  
 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。  
 出張料：技術者を派遣する料金です。

### 長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

このような症状はありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーカーがたびたび切れる。</li> <li>●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。</li> <li>●運転音が異常に大きい。</li> <li>●電源スイッチの動作が不確実。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul>	▶	ご 使 用 止 中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
-----------------	--	---	-----------	--

# ⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

## ⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：製造番号の上2桁が西暦年下2桁を表しています。）  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至る恐れがあります。

■設計上の標準使用期間とは  
運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件にもとづく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。  
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。  
また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは  
長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。  
標準的な使用条件と異なる場合や本来の使用目的以外や改造等で使用された場合は、短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至る恐れがあります。

### ■標準的な使用条件

区分	項目	条件
環境条件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz / 60Hz
	室温	5℃～35℃
	湿度	85%以下
負荷条件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	5℃～30℃
	負荷	12時間/日 使用
使用条件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2000杯
	1年間使用杯数	24000杯

## ⚠ この自動お茶いれ機は長期使用安全のため 使用開始から10年で全運転を停止します

■この自動お茶いれ機は、使用開始時（設置して初めて電源を入れたとき）からタイマーによるカウントを開始し、10年経過した時点で全運転を停止（すべてランプ表示が消灯）する仕様になっています。

※電源を切っている間もタイマーのカウントは継続されます。

■全運転を停止する90日前から、コントローラーの画面に停止までの残り日数を表示します。  
お早めに販売店にご相談ください。

この製品の設計上の標準使用期間は7年となっております。  
より安全にご使用いただくため、お早目の交換、メンテナンスをいただけますよう  
ご理解とご協力をお願いいたします。

